

東日本ユニオン

2017春闘NEWS

JR東日本労働組合
発責 本部企画部

2017年3月6日 No.11

同じ産業や地域で働く仲間とともに闘おう

交運労協・連合「交通・運輸」部門連絡会

2017春季生活闘争勝利3.3総決起集会

交運労協は3月3日、田町交通ビルにおいて「2017 春季生活闘争勝利 3.3 総決起集会」を「交通運輸政策の実現と労働環境の改善をめざし、魅力ある産業の構築に向けた運動を展開しよう!」をスローガンに開催されました。

今集会には交通運輸産業で働く 400 名を超える仲間が結集し、交運労協に結集する 65 万人の仲間とともに闘うべく、私たち東日本ユニオンも本部を中心に青年女性委員会とともに鉄関労の一員として参加しました。



集会は難波副議長（労働条件委員会委員長）により進められ、主催者を代表してあいさつに立った住野議長は「昨年の軽井沢スキーバス転落事故から一年が経った。事故を教訓として『安心・安全』を第一に、ルールを守ることが大切だ」と語り、2017 春闘については「月例賃金にこだわり、所定内労働で生計を営むことが可能となる賃金水準を確立する」「人手不足の問題にも真正面から取り組む」との決意が述べられました。

今集会には来賓として連合の神津会長が参加され「昨年、連合は『底上げ春闘』を強調し、物価上昇がない中でも賃上げを実現してきた」「大手企業だけでなく中小企業も賃上げを実施し、大手と中小の賃上げ率も差が縮まった。デフレ脱却には昨年のような春闘を継続することが重要だ」「2017 春闘は月例賃金の引き上げにこだわっていく。経団連は年収ベースでの引き上げを強調するが、経済の好循環の実現という社会的要請に応えるには、月々の賃金を増やすことが欠かせない」と賃上げにむけ、働く者のさらなる奮起を呼びかけました。

高松事務局長より「2017 春闘および政策・制度要求の取り組み」が報告され、JR連合を含む 4 つの構成組織からの決意表明があり、慶島事務局次長が集会宣言（案）を高らかに読み上げて提起し、満場一致で採択されました。

最後に住野議長による団結ガンバローを全体で三唱し、2017 春闘の勝利にむけた闘う意思を打ち固めました。



働く者の力を合わせて賃上げを勝ちとるぞ!